

臨床研究に関する公開情報

平成 29 年 4 月 17 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「関西地区でのカンジダ血症における抗真菌薬の使用量の多施設調査」

研究期間：2017年3月から2019年12月までを予定しています。

対象：2015年7月から2016年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターにてカンジダ血症で受診された方

研究目的：カンジダ血症は米国大規模サーベイランスでは、院内菌血症の原因菌の9.0%を占め全体の4位であり、またICUにおける菌血症の原因菌別死亡率ではカンジダ属が最も高率であることが報告されています。カンジダ属は菌種によって抗真菌薬の感受性が異なるため、適正な診断・抗真菌薬の選択が必要です。また、近年耐性化の観点から各抗真菌薬を均等に使い分けることが推奨されています。この度、医真菌学会関西支部「深在性真菌症研究会」の世話人施設において、カンジダ血症における抗真菌薬の使用状況を調査し、抗真菌薬の投与量を施設間で比較検討します。研究全体の統括は兵庫医科大学病院感染制御部（代表者・竹末芳生）がおこないます。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、投与された抗真菌薬の薬剤名、投与量、投与期間があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者： 遠藤 和夫

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001